

機械器具(56)採血又は輸血用器具
開放型採血用チューブ 34590000 管理医療機器

キャピラリー管 クリニチューブ

再使用禁止

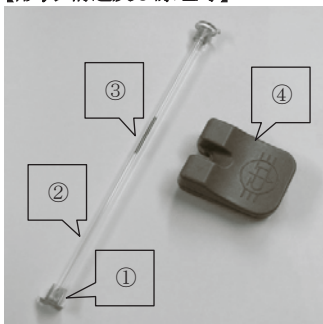
【警告】

本品を使用する際は、血液等の付着を防止できる手袋を装着すること

【禁忌・禁止】

本品の再使用

【形状・構造及び原理等】



No	部品名	材質
①	キャピラリーキャップ	ポリエチレン
②	キャピラリー管	PETG(非結晶性ポリエステル樹脂) またはガラス
③	ミキシングワイヤ	スチール
④	マグネット※	—

※code: 905-663、905-664、905-666 のみに付属

(仕様)

<プラスチック、電解質バランスヘパリン(※1)>

測定可能項目:血液ガス、電解質、オキシメトリー、代謝項目

※1:電解質補正機能あり

Code	942-892	942-893	942-898	942-969 *

<ガラス、電解質バランスヘパリン(※1)>

測定可能項目:血液ガス、電解質、オキシメトリー、代謝項目

※1:電解質補正機能あり

Code	905-663	905-664	905-666	942-878
	942-880	942-884	942-968 *	

<プラスチック、ヘパリンナトリウム(※2)>

測定可能項目:血液ガス、オキシメトリー、代謝項目

※2:電解質補正機能がないため、電解質項目は測定不可。

Code	942-890

<ガラス、ヘパリンナトリウム(※2)>

測定可能項目:血液ガス、オキシメトリー、代謝項目

※2:電解質補正機能がないため、電解質項目は測定不可。

Code	942-875	942-882	942-885

【使用目的又は効果】

本品は、ランセット等で皮膚に穿刺することで、皮膚上に流出する血液を採取する器具である。

【使用方法等】

<準備>

1. 採血部位を選択し、当該部位を温め血液循環を増大させる。
2. キャピラリー管の一方の開放端にキャピラリーキャップをゆるめに取り付ける。

3. キャピラリー管にミキシングワイヤを挿入する。

<採血>

4. 選択した採血部位を消毒し、ランセット等で穿刺する。

5. 皮膚上に流出した血液へキャピラリー管開放端を皮膚に触れないように置き、毛細管現象により血液を満たす。

<混和>

6. あらかじめ取り付け付けたキャピラリーキャップを、ゆるみや外れが生じないようにしっかり取り付ける。

7. キャピラリー管開放端にキャピラリーキャップをゆるみや外れが生じないようにしっかり取り付ける。

8. マグネットをキャピラリー管に近づけ、ミキシングワイヤを端から端まで往復させ、抗凝固剤とよく混和させる。

<測定>

9. 測定する前に、再度、8の作業を行う。

10. 使用する医療機器の添付文書及び取扱説明書に従い、血液サンプルを導入する。

【使用上の注意】

** <重要な基本的注意>

- ・ 採血及び検体を取り扱う際には、血液と直接触れないよう対処し、十分注意すること。
- ・ 一度採血した検体はヘパリン化されており、又、血管内に気泡が混入する可能性があるため、いかなる場合であっても患者へは戻さないこと。
- ・ キャピラリー管は、過度の力を加えると破損する可能性がある。万一、破損した場合は、破片等だけがをしないよう、十分注意すること。
- ・ キャピラリー管は、使用直前にキャピラリー管用容器より、必要本数だけ取り出すこと。
- ・ キャピラリー管を体内や皮膚に接触して使用しないこと。
- ・ 採血後、十分に混和されないと、検体が凝固することがある。
- ・ 気泡があるまま測定すると、分析機器の測定結果に影響が出る。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所をさけて保管すること。

<使用期限>

外箱又は包装の使用期限欄を参照すること。

(自己認証[当社データ]による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ラジオメーター株式会社

東京都品川区北品川 4-7-35

電話番号:03-4331-3500

製造元企業名

ラジオメータースターガード

製造元国名

ポーランド国